

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2015年10月6

のら望話 “泣きっ面にハチ”

近頃様々なメディアで“特定外来生物”なる言葉を眼にする。「外来生物のなかでも特に人間の健康や在来種の生態系などに害を及ぼす、またはその可能性がある」とされる生物」と規定される。それらは哺乳類、爬虫類、鳥類、昆虫類等すべてに亘る。



始末に悪いのは何故か外来種の全てが在来種よりも繁殖力が強く放って置くとたちまち日本の種が滅ぼされてしまうことである。

農作物に被害をもたらす外来種としてはハクビシンなどの哺乳類が挙げられるが人に直接危害を与える身近なものがハチである。資料によると8~9月が営巣期で最も攻撃的な時期とされる。

良く知られるアシナガバチは田畑の畔や背丈の高い雑草、垣根などいたる所に巣を作るのでとても危険だ。直接巣に触れたりでもしたら一斉攻撃に見舞われてしまう。

異常な長雨も終わり遅れた作業を取り戻そうとした矢先、ハチに刺され大変な思いをした生産者が身近に二人いる。一度に10箇所以上も刺され医者へ行くハメになったとのこと。今後特定外来種が幅を利かすようになると別の意味また一つ農業環境に厄介な状況が生じることとなる。

異常気象と相まって正に“泣きっ面にハチ”です。